

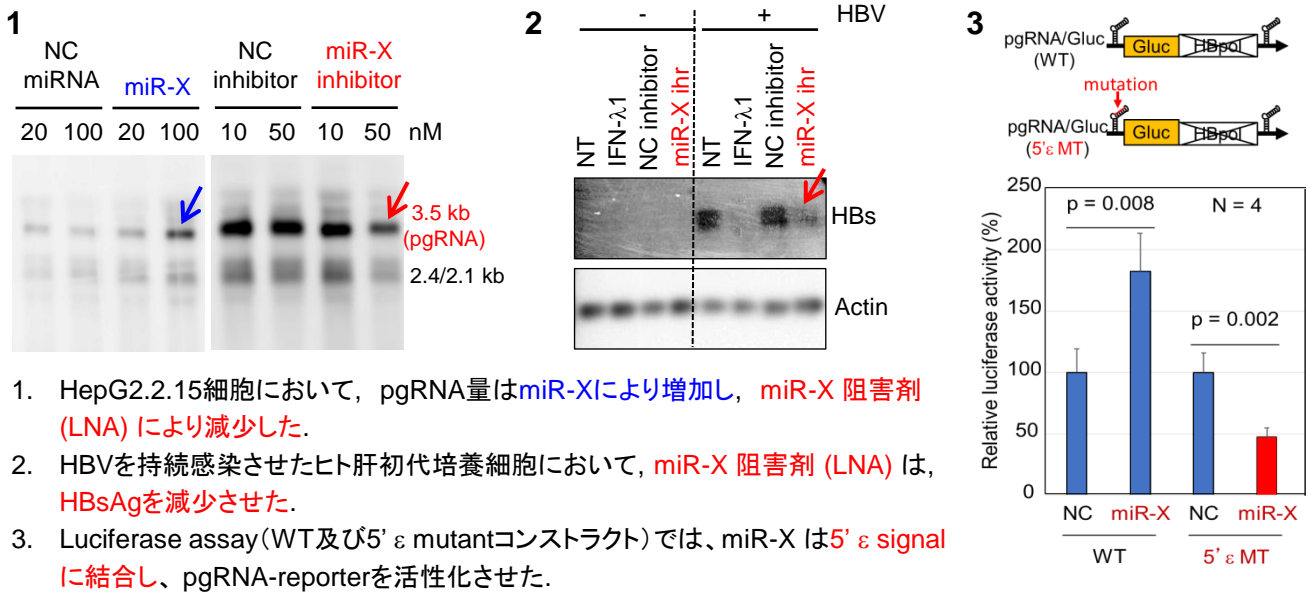
miRNAを標的とした B型肝炎の新規治療法の開発

【概要】

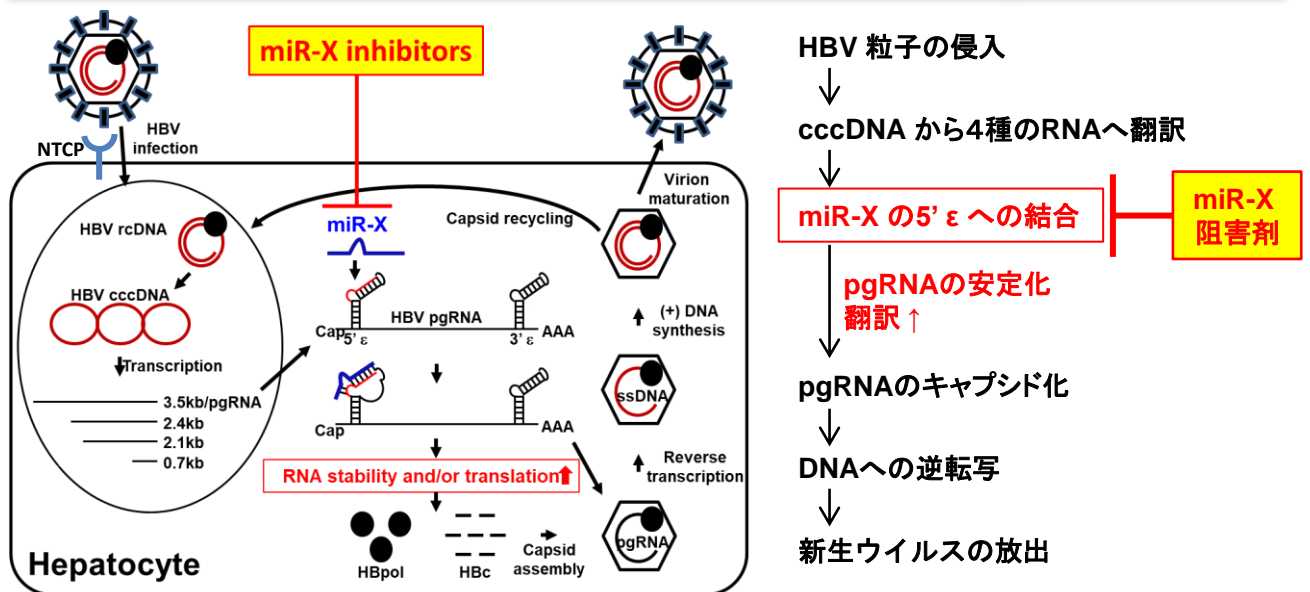
miRNAのひとつであるmiR-XがHBVの複製を促進させることを新たに見出した。miR-Xは、HBVの複製に重要なpgRNAの5'側にあるepsilon signal(複製に重要な高次構造)に結合し、複製を促進させることを確認した。また、miR-Xの阻害剤(核酸阻害剤:LNAなど)により、pgRNAやDNA、HBsAgが有意に減少することを確認している。miR-Xが結合する5' epsilon signalの配列は、HBVの遺伝子型間で非常に保存されており、変異の起こりにくい領域であることから、miR-XはB型肝炎治療の新規ターゲットになり得ると考えられる。

【主な実験結果】

miR-Xは pgRNAの5' 側に存在する epsilon (ϵ) signal に結合し、HBVの複製を促進する。



【作用機序】



miRNAを標的とした B型肝炎の新規治療法の開発

【論文】

投稿中

【特許】

“B型肝炎ウイルスの複製阻害組成物”

出願番号: JP2020-556176, US17/294,171,
EP19883848.4, CN201980075215.0.

【その他（応用領域・協業等）】

- 現在、動物(ヒト肝臓キメラマウス)を用いた実験を実施中.
- 核酸医薬や低分子化合物への応用が可能です.
- B型肝炎の新規治療薬として開発を目指していただける企業の方を求めています.
(ライセンスの導出 又は 共同研究)
- 秘密保持契約のもとで**最新情報の提供が可能です**.

【お問合せ先】

公益財団法人東京都医学総合研究所(都医学研)
知的財産活用支援センター (TLO)
マネージャー 塚原 涼子
e-mail : tsukahara-rk@igakuken.or.jp / chizai@igakuken.or.jp



Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

公益財団法人東京都医学総合研究所 知的財産活用支援センター 担当: 塚原
<http://www.igakuken.or.jp/tlo/> e-mail: chizai@igakuken.or.jp

